

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあい静岡宮竹校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日（火） ～ 令和7年12月20日（土）			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日（火） ～ 令和8年1月6日（火）			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月8日（木）			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園・保育園・こども園との連携をすることができます。	保護者様からのご要望があれば、お子さんが登園する幼稚園・保育園・こども園との連携をすることができます。	引き続き、連携についての希望を集めていき、希望のある方については連携を進めていければと思います。
2	マジックミラー越しに支援場面を見学することができます。	支援場면을マジックミラー越しに見学することができます。お子さんへの関わり方や言葉かけなどについて、指導員がどのようにしているのか見学することができます。	お子さんの支援見学はいつでも可能です。
3	毎回のフィードバックをとおして、保護者様と連携をしてきました。	支援終了後にはその日の支援のよかったことやがんばりをお伝えしてきました。また、最近の学校（園）や家庭での様子を聞き取り、支援に生かす取り組みも継続してきました。	引き続き、フィードバックの時間を大切にして、保護者様と連携して療育にあたっております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	移転した後のバタバタもあり、新静岡校のときにはできていた保護者会が開催できなかったです。	来年度は移転して1年を迎えることもあり、再び保護者会の開催ができればと考えております。	静岡宮竹校での保護者会は駐車場の問題から難しいようであるならば、キラリ高校（旧・新静岡校）を会場に保護者会を開催することも検討しています。
2	駐車場でご迷惑をおかけしています。	教室前には「2番」の駐車場が1台、堀田内科医院のところには「7番」「8番」の駐車場が2台分、合計3台分の保護者用駐車場を確保しております。	堀田内科医院のところには実際には6台分の駐車場を確保しておりますが、職員も駐車しますので、保護者用は2台分となります。どなたがどの駐車場を利用するのかについては、来年度、あいあいから依頼をしていければと思います。
3	指導員の人数が3名と、他教室と比べると少ないです。	移転した間際ということもあり、指導員の配置は3名と、他教室（4～5人）と比べると少なかったです。	来年度は指導員の配置が増える見込みです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		あいあい静岡宮竹校					公表日		2026 年 2 月 14 日		
		利用児童数				7名		回収数		7名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	0		個別療育の支援室が3部屋、面談室が1部屋備わっています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		定員が10名ですので、指導員の配置は2人になるところ、3人の指導員を配置しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		2階の事業所ですので、バリアフリーという点では弱いところがあるかと思ます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		定期的に清掃を行い、室内を清潔に保っております。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		アセスメントシートや日々の支援記録の積み重ねから、より正確なこども理解に努めております。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		ホームページにプログラムを公表しております。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		個別支援計画の作成には指導員も参画し、より多角的な視座で立案できるよう配慮しております。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1	0	0		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容が盛り込まれております。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		個別支援計画に基づいたプログラムを提供しております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	0		支援プログラムはMTをとおして複数の職員が参画して作成立案しております。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	0	0		地域のこどもとの交流は予定しております。			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		契約の際に個別支援計画や利用者負担などについて説明させていただいております。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		モニタリング面談の際に、次の半年間の個別支援計画について提案し、説明してまいりました。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	0	2		新静岡校のときはペアレントプログラムを開催してきました。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		毎回の支援後のフィードバックを大切にしております。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	1		半年に1度、モニタリング面談の機会を設けてまいりました。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	1		お子さんへの支援だけでなく、保護者の皆様のサポートにも取り組んでまいります。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	0	4		新静岡校のときは保護者会を開催してきました。来年度は静岡宮竹校でも企画していければと思います。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1		相談に対しては柔軟に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		個人情報に配慮しながら情報伝達していければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	0	1		ブログとインスタグラムで情報配信をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	1		個人情報の取り扱いには十分に配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	1		各種マニュアルは玄関のファイルに綴じてあり、いつでも閲覧できるようになっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	2		非常災害に備えた訓練は毎月実施してまいりました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		とりわけ一人で通所するお子さんについては安全に配慮してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1	0	3		万が一の事故の際には、すみやかに保護者様と連携いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		安心感をもって通所してもらえるよう、努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		通所を楽しみに思ってもらえるよう、努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	駐車場が1台しかなく遠く、時間帯が同じ保護者と気まずい。	駐車場についてはご不便をおかけします。徒歩3分ほどのところに保護者用駐車場も備えております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あいあい静岡宮竹校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別療育の支援室を3部屋備えております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員が10名ですので指導員2人配置が基本のところ、指導員を3名備えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	各部屋にはマジックミラーを備えており、保護者様が支援見学ができる仕組みになっております。	階段を利用しなければならないため、バリアフリー化についても難しいところがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に清掃に努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援室が3部屋、面談室が1部屋ありますので、個別対応ができる環境になっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルには全職員が参画しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年2月ごろには事業所評価をホームページに掲載しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝のMTで情報共有をする機会を設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第3者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の研修や会社全体の研修など、研修を受ける機会がさまざまございます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに支援プログラムが公開されております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントシートのほか、日々の支援記録の積み重ねで子どもの実態を正確に把握する努力をしております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の作成には全職員がアイデアを出し合っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づいた療育の提供をすすめております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年度初めのアセスメントシートと日々の支援記録の積み重ねで確認しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画は「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容が盛り込まれております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの企画立案は指導員全員でアイデアを出し合っており行っております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムが固定化しないように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別療育の提供が主ですが、イベントの際などは小集団療育を提供することもあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のMTで情報共有をする機会を設けております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援開始前にMTを行い、そこでまとめて打ち合わせを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援記録の作成を徹底しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度のモニタリング面談を開催しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議が開催されるときには児発管と指導員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて医療機関、学校や園などと連携をしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からのご要望に応じて、園を訪問して関係機関連携を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		希望があれば連携をすることができます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		とりわけペアレントプログラムでは、静岡市発達障害者支援センターきらりのスーパーバイズを受けてきた経緯があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		他のこどもとの交流は予定しておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックでの保護者様との連携を大切にしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		新静岡校のときはペアレントプログラムの講座を開催しております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		上限管理のある方については、毎月、管理結果を説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画の説明の際には、保護者様のご意向を反映できるように配慮しております。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画については保護者様からサインをいただき、同意を得るようにしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談については随時受け付けてまいりました。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		新静岡校の時は保護者会を開催してまいりました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの相談については随時受け付けてまいりました。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログとInstagramで情報配信をしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分に配慮してまいりました。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個人情報に配慮しながら情報伝達をしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待する活動は予定しておりません。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは玄関に配置してあるファイルでいつでも閲覧できる状況になっております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、訓練を経験してまいりました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートをもとに、服薬や病歴などについて把握してまいりました。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			イベントでお菓子を配る時には食物アレルギーの有無を確認してまいりました。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		とりわけ一人で通所する子については安全に配慮してまいりました。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		とりわけ一人で通所する子については、保護者様とLINEで連携をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの蓄積と安全点検の際の活用を継続してまいりました。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社全体としての虐待防止研修に参加してまいりました。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化についても会社全体の研修に参加してまいりました。	